

同じ趣味で距離縮まる

多肉植物寄せ植え婚活

Plants funstop natur で11月26日(休)、植物好きな男女が集まる婚活イベントが行われました。

植物をテーマにした婚活は町内で2回目。令和2年1月に行われた第1弾は「同じ趣味で会話が弾む」と好評で、成婚者も出ています。

今回は町の「まちづくりスタートアップ補助金」※を活用して実施され、39歳までの独身男女各7人が参加。多肉植物の寄せ植え体験や1対1トークで盛り上がり、3組のカップリングが成立しました。

※地域の課題解決のために自ら活動する団体へ、町が補助金を交付するもの。そのほかの補助団体は先月号をチェック！



異文化を受け入れる大切さ学ぶ

グローバルお作法講座

ゲストハウスのO.S.で11月の2日間、小中学生10人が、外国人と接するときに役立つ世界のしきたりやマナーを学びました。

今回のテーマは「外国での暮らし」。初日である15日(日)は、在住外国人の生活をゲームで疑似体験し、「やさしい日本語」の大切さを学びました。2日目の29日(日)は、広川消防署による火災予防クイズやゲームを、在住外国人9人と楽しみました。

参加者からは「外国の文化を受け入れればみんな楽しくできる」「火災が起きたら、落ち着いて考えて行動する」などの声が聞かれ、異文化でも理解し合うことの大切さを実感した様子でした。



久しぶりの再会に笑顔

ファミリーバドミントン交流大会

成績

「1位」あきちゃんずZ(中広川校区) 「2位」笑顔の天使たち(上広川校区) 「3位」クローバー(中広川校区)

11月15日(日)、下広川小で「広川町スポーツフェスタファミリーバドミントン交流大会」が行われました。

今年は新型コロナウイルスの影響により、県内外のチームの交流を中止。10回目となる今大会も開催が危ぶまれましたが、「スポーツフェスタだけでも開催したい」という役員の思いから、開催に至りました。

当日は11歳から80歳まで、幅広い年齢の計68人が参加。久しぶりの仲間との再会に、多くの笑顔が見られました。



家族の絆深める

親子ふれあいナイトハイキング

11月13日(金)～14日(土)、家族で中広川小から弘化谷古墳まで歩く「親子ふれあいナイトハイキング」が行われました。例年は中広川小から高良大社まで、往復24キロメートルを歩いているものの、今年は規模を縮小代わりに12家族29人が、玉串奉納や天体観測などを行いながら、広川町内を歩きました。

最後は全員で、広川町へのメッセージをこめた「光文字写真」を撮影。参加者からは「親子でゆっくり会話することができてよかった」「星がとてもきれいだった」「例年より距離は短かったけど、天体観測ができて楽しかった」などの感想が聞かれました。



各施設へ適切な助言

感染症対策アドバイザー

11月2日(月)、姫野病院感染対策室の中西穂波室長が、広川町の感染症対策アドバイザーに任命されました。感染症対策アドバイザー制度とは、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザの感染拡大を防ぐため、町が独自に設けたもの。公共施設に専門家を派遣し、利用者の感染防止や予防にあたる職員へ、適切な指導・助言を行います。最初の派遣先である子育て支援センター「ハグハグ」では、中西室長が保育士へ適切な対策について助言しました。

今後は町内の保育園や幼稚園、小学校、図書館など、多数の利用者が集まる公共施設へアドバイザーが派遣される予定です。

試合ごとに成長して得た準優勝

広川少年野球クラブ

10月31日(土)～11月3日(火)、筑後市で開催された「筑後市少年野球育成会会長杯野球大会」で、広川少年野球クラブが準優勝しました。

38チームが参加した今大会。1回戦から準決勝までの5試合のうち、1回戦と2回戦、準決勝戦の3試合をコールド勝ちするなど、攻守が噛み合い決勝まで進みました。

決勝戦では序盤、0対0の緊迫した展開でしたが、その後失点し惜しくも優勝を逃しました。しかし、部員14人が励まし合い、全力プレーで得た価値ある準優勝となりました。

広川少年野球クラブは部員を募集中。体験・見学は監督 下村さん(☎090・3326・1667)へ。

